

2026

2026 Academic Year Recruitment Brochure

はじめての人も、 次の一歩の人も。

大学のインターンシップを、同じ想いの仲間と学ぶ2日間。

2026年度 インターンシップ専門人材研修会 — 実践編 [STEP 2] / 発展編 [STEP 3]

STEP 02 PRACTICE

実践編

第10期 / 2026.11月 オンライン

STEP 03 ADVANCED

発展編

第9期 / 2027.2月 オンライン+対面

・ Chapter 01 —

文部科学省の公式枠組みに基づく体系的な育成システム

2018年 文部科学省事務連絡「大学改革としてのインターンシップの推進に係る専門人材の育成・配置」で示された3段階の枠組み（STEP1～3）に対応する、CIAC × JASSO の公式プログラム。段階的に受講することで、知識・実践力・制度設計力を確実に習得できます。

STEP 1 01 説明できる Basic Level インターンシップの意義・制度・現状を体系的に理解し、学内外の関係者に説明できるレベル。 担当 JASSO 基礎編	STEP 2 02 行動できる Practice Level 本研修会 自大学の現行プログラムを客観的に評価・点検し、教育的効果の高いプログラムへ改善・実行できる。 担当 CIAC 実践編	STEP 3 03 変革できる Advanced Level 本研修会 大学（教育）改革につながる先導的・革新的プログラムを企画立案・提案し、全学的なリーダーとして実行できる。 担当 CIAC 発展編
--	--	--

「タイプ3・タイプ4」に限定しません。産学協議会がインターンシップと定義する「タイプ3」「タイプ4」に限定せず、「タイプ1（オープン・カンパニー）」「タイプ2（キャリア教育）」も含め、広く「インターンシップ専門人材」として位置づけています。

研修会の5つの特長

01 文科省の公式枠組みに準拠 国が示した3段階の育成体系に基づく、信頼と安心のプログラム構成。	02 実践的な内容 自大学のプログラム改善に活かせる、具体的なヒントが満載。	03 他大学との対話 グループワーク中心。他大学と学び合い、新しい発想が生まれる。	04 企業と直接対話 企業担当者と合同ワーク。双方の役割・メリットを再考（発展編）。	05 満足度97%・実績200名+ 日本で唯一のインターンシップ専門人材資格認定機関による実績。
---	---	--	---	---

他大学の事例を知り、本学の課題が明確に。次年度のプログラム改定点が整理できました。

— 地方私立大学・教員

他大学でも同様の環境で孤軍奮闘する仲間がいることに、勇気をいただきました。

— 地方国立大学・職員

数字で見る本研修会の実績			
CIAC IN NUMBERS			
参加者満足度 97% 昨年度アンケート回答者の97%が「参加してよかった」と回答	これまでの修了者総数 200名+ 2018年の開始以来、全国200名以上の教職員が受講・修了	CIAC認定コーディネーター 86名 STEP3修了者のうち「認定インターンシップコーディネーター」に登録（2026.4時点）	開催実績（今回で） 10期目 2018年の初回開催から数えて10期目・9期目を迎える伝統ある研修会

・ Chapter 02

開催概要 × 受講対象者

実践編・発展編ともに2日間のプログラム。オンラインと対面を組み合わせた、参加しやすい構成です。

STEP 2 実践編 第10期 DAY 1 2026年11月10日（火）／13日（金） 9:30 – 17:00 ZOOM DAY 2 2026年11月17日（火）／20日（金） 9:30 – 17:00 ZOOM ※両日ともに内容は同じ。ご都合のよい1日にご参加ください。	STEP 3 発展編 第9期 DAY 1 2027年2月12日（金） 9:30 – 17:00 ZOOM DAY 2 2027年2月26日（金） 10:00 – 17:00 対面 ※2日目は企業担当者と合同・対面。デジタルハリウッド大学（御茶ノ水ソラシティ アカデミア 3F/4F）／終了後 懇親会 4,000円・任意。
---	--

CAPACITY / 定員 各回 30名 定員に達し次第、受付終了	FEE / 受講料 25,000 円 / 各編 お一人あたり・振込	DEADLINE / 締切 STEP2 : 2026.10.30 金 STEP3 : 2027.01.29 金
---	---	--

受講対象者 高等教育機関に所属する教職員が対象

STEP 2 実践編の対象者 - JASSO「基礎編」を修了／同等の経験・実績（自己評価で可） - 自大学のインターンシップに概ね1年以上携わっている - 関連資料（シラバス等）を共有できる（可能な範囲で可） - 高専・短大・大学等の高等教育機関に所属する教職員 - 事前課題を完了し、2日間全てのプログラムに出席できる	STEP 3 発展編の対象者 - CIAC「実践編：STEP2」を修了している（過年度でも可） - 自大学のインターンシップに概ね3年以上携わり、構築・改変に携われる立場 - 関連資料（シラバス等）を共有できる（可能な範囲で可） - 高専・短大・大学等の高等教育機関に所属する教職員 - 事前課題を完了し、2日間全てのプログラムに出席できる
--	--

CERTIFICATION CIAC認定インターンシップコーディネーター 発展編：STEP3 修了者のうち希望者は認定・登録が可能。名称・ロゴマークの使用（名刺等への記載）ができます。全受講者には「修了証」を発行。	86 名登録 2026.4月時点
---	------------------------------------

・ Chapter 03 —

研修プログラム

実践編（STEP2）は「行動できる」レベルの到達を目指します。自大学プログラムの総点検 → 改善提案 → 行動計画の立案までを2日間で。

STEP 2 | 実践編

Look, Rethink,
& Redesign.

「行動できる」レベル

到達目標 自大学の現行プログラムを客観的に総点検し、教育的効果の高いインターンシップの実施・運営のポイントを理解、地域・社会のニーズを踏まえた改善案を提案・実行できる。学内他部署とのネットワークを形成し、教職協働の視点で業務を遂行できる。

DAY 1 | 11月10日 or 13日（オンライン）

SESSION 01

松高 政

大学教育におけるインターンシップの意義

- これまでの現状と課題
- 実施目的・教育的効果の明確化
- 「三省合意」改正後の対応

SESSION 02

佐々木 ひとみ

「専門人材」の意義と役割

- 教職員としての立ち位置と関わり方
- 抱える課題と問題意識
- 専門人材としての意識・心構え

SESSION 03

小島 裕子／松高 政

「専門人材」のリアルな姿

- 具体的業務 ― 意義と留意点
- 多様な学生への対応と支援
- 学内外の連携構築と理解促進

DAY 2 | 11月17日 or 20日（オンライン）

SESSION 04

松高 政

教育的効果を最大化するプログラム設計

- 学修プログラムの全体設計
- 事前・事後学習のプログラム
- 就業期間のモニタリングとフォロー

SESSION 05

上野 恵美

企業との協働関係を構築するポイント

- 「教育的効果」と「企業メリット」の両立
- 「三省合意」改正後の企業との関係
- 就業期間中のリスク管理

SESSION 06

加治屋 佳奈／松高 政

企業視点でインターンシップを再考

- 企業側から見たインターンシップの現状
- インターンシップと採用との関連
- より良い協働関係の構築

SPECIAL

個別相談会・情報交換会（1時間程度）

DAY 1 終了後（任意参加）

CLOSING

学びの総括と行動計画の立案／修了式

2日間の学びを言語化し、自大学に持ち帰るアクションプランを策定。修了証を発行します。

DAY 2 まとめ

・ Chapter 03 (Continued) —

発展編 プログラム

発展編（STEP3）は「変革できる」レベルの到達を目指します。2日目は企業担当者と合同・対面で、大学と企業の混成グループワークを実施します。

STEP 3 | 発展編

「変革できる」レベル

*Reform & Lead
the Future.*

到達目標 大学（教育）改革につながる**新たなプログラムを企画立案・提案し、実施**できる。高等教育の政策動向を批判的に分析し、地域・社会のニーズを踏まえた先導的・革新的プログラムを作り出せる。執行部・関係部署の責任者が納得する説明力と合意形成力を発揮し、全学的なリーダーとして業務を遂行できる。

DAY 1 | 2月12日（オンライン）

SESSION 01

松高 政

大学教育におけるインターンシップの可能性

- 「三省合意」改正後の今後の展開
- 「大学改革としてのインターンシップ」
- 自大学の捉え直しと専門人材の役割

SESSION 02

原 正紀

大学教育とインターンシップのイノベーション

- 自大学の現状の情報収集と整理・分析
- 現行プログラムとありたい姿
- 課題解決の具体的アイデア立案

SESSION 03

佐々木 ひとみ

学内意見の形成と協力体制の構築

- 執行部への理解促進と提案のポイント
- 他部署との連携のあり方
- 現場と執行部の協力体制構築

SPECIAL

個別相談会・情報交換会 / 懇親会 4,000円

DAY 2 | 2月26日（対面・企業と合同）

GROUP WORK

大学 × 企業 合同

理想のインターンシップを構想する

- 大学・企業双方に意義ある理想像
- 実現を阻む課題の洗い出し
- 課題を乗り越えるアクション検討

GROUP WORK

大学 × 企業 合同

持続可能な運営体制の構築

- 大学と企業の協働体制の構築
- 採用以外のメリットの創出
- 組織内で承認される提案方法

GROUP WORK

最終提案

実現可能性のあるインターンシップを提示

- 組織内で承認される具体的提案として整理
- 実装に向けたロードマップの策定

DAY 1 終了後／DAY 2 終了後（任意）

CLOSING

DAY 2 まとめ

学びの総括と行動計画の立案 / 修了式

- 修了者のうち希望者は「CIAC認定インターンシップコーディネーター」として登録可能（別途手続き）。

Chapter 04

講師陣

インターンシップ、キャリア教育、大学経営、人材育成、新卒採用に精通した講師陣がファシリテートします。



Masashi Matsutaka

松高 政 ※

CIAC代表理事
京都産業大学 経営学部准教授

教育サービス系企業において、大学におけるキャリア教育に関する調査研究、企画開発に携わり2007年4月より京都産業大学に在職。文科省・経産省のインターンシップに関する委員を多数歴任。日本学生支援機構「インターンシップ専門人材セミナー基礎編」メイン講師・ファシリテーター。文科省「大学等における学生のキャリア形成支援活動」最優秀賞受賞。主な編著書インターンシップの教科書』『大学教育 を変える、未来を拓くインターンシップ』等。



Masaki Hara

原 正紀

CIAC理事・事務局長
株式会社クオリティ・オブ・ライフ 代表取締役社長

早稲田大学法学部卒業後、製造業を経てリクルートへ入社し起業。多数の企業の成長・変革や官公庁や教育機関のプロジェクト受託。著書は『定年後の働き方は40代で決めなさい』『採用氷河期』など10冊以上、年間講演は50回以上。「キャリア教育アワード」等国や自治体の委員経験多数。高知大学客員教授、筑波大学講師、（特非）キャリアコンサルティング協議会事務局長、（一社）留学生支援ネットワーク理事、日商雇用政策懇談会座長代理。



Hitomi Sasaki

佐々木 ひとみ ※

CIAC理事・シニアコンサルタント
東京家政学院大学特任教授

元早稲田大学常任理事・元キャリアセンター長。長年キャリア支援に取り組み、同大の全学部共通科目「インターンシップ」授業を立ち上げ、プログラム全体の形を整備した。キャリアセンター長としてキャリア事業統括を行うと同時に文科省や経産省のインターンシップ関連委員を歴任。経団連の産学協議会委員として、今回のインターンシップ改訂にも関わる。現職の大学ではキャリア教育プログラムの責任者として低学年のキャリア教育授業・実習に奮闘中。



Yuko Kojima

小島 裕子

CIACシニアディレクター／湘北短期大学キャリア教育センターインターンシップ課長

商社勤務等を経て2007年より現職。事前学習授業「インターンシップリテラシー」プログラム開発、先輩が後輩を指導する「インターンシップティーチング」の授業講師も担当。19年間インターンシップ業務に携わり、実習先企業開拓をしながら、年間延べ400名以上の学生と100社以上の企業の対応を行う。2018年文部科学省「大学等におけるインターンシップ表彰」優秀賞受賞。キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、CIAC認定インターンシップコーディネーター。



Emi Ueno

上野 恵美 ※

CIACプログラムコーディネーター／下関市立大学教養
教職機構准教授・附属リカレント教育センター長

大学卒業後、地方銀行入行。退職後、自営業を経て、ジョブカフェで大学生を中心とした若年者に対する就職支援を行う。法人化1期生として下関市立大学に入職し、キャリアセンター立ち上げ、キャリア教育の構築を行う。また、16年間インターンシップ実施運営に携わる。2022年度末退職後、2023年度より教員として採用され、キャリア教育、インターンシップを担当。リカレント教育センター長として社会人教育にも力を入れる。CIAC認定インターンシップコーディネーター。



Kana Kajiya

加治屋 佳奈

CIACプログラムコーディネーター／
株式会社ソフトウェア・サービス 人財部 マネージャー

損害保険の営業職、病院の広報職を経て、中途入社で現職。新卒採用業務に従事し現在13年目。社員数2,000名に対し、毎年150名以上の新卒採用の戦略立案、インターンシップ等のコンテンツ設計から実施まで多岐に渡る業務を担当。人事として採用に関わりながら、大学のキャリア教育授業やインターンシップ専門人材セミナーへの登壇、文部科学通信の原稿執筆なども行う。「CIAC認定インターンシップコーディネーター」企業担当者1期生。

※印は令和8年度日本学生支援機構キャリア教育・就職支援事業に係る協力者

• Chapter 05 —

「2026年度インターンシップ専門人材研修会【実践編】【発展編】」の開催にあたって

ご挨拶

独立行政法人 日本学生支援機構
学生生活部長

佐藤 稔晃 様

— 専門人材育成の考え方と体系的な育成システムの構築について —

独立行政法人 日本学生支援機構
学生生活部長

佐藤 稔晃 様

混迷する国際情勢・情報化の著しい進展・人材不足など、社会構造等の大きな変化に伴い、社会に求められる人材が大きく変わり続けています。大学等においては、これらの変化に対応しつつ社会にとって新たな価値を創出・創造できる人材を育成することが求められる中、インターンシップは、産学協働による学生のキャリア形成支援を推進する取組として、大学等における人材育成において重要な位置づけとなってきております。

政府においては、2022（令和4）年4月に経団連と大学団体代表者などからなる「採用と大学教育の未来に関する産学協議会」が整理した「学生のキャリア形成支援に係る産学協働の取組み」の4類型を踏まえ、同年6月に、文部科学省・経済産業省・厚生労働省の連名により「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」（いわゆる三省合意）を改正しました。この改正により、インターンシップは「学生がその仕事に就く能力が自らに備わっているかどうかを見極めることを目的に、自らの専攻を含む関心分野や将来のキャリアに関連した就業体験を行う活動」と再定義されました。

大学等において教育的効果の高いインターンシップを推進するためには、大学等、学生、企業の三者が、再整理された定義や類型の理解の下、インターンシップの教育的意義や内容について共通認識を構築することが不可欠です。そして、大学等においては、インターンシップの企画・運営、学内及び企業等との調整等を行うことができる**専門的な人材（インターンシップ専門人材）の育成・配置**がより重要となっています。

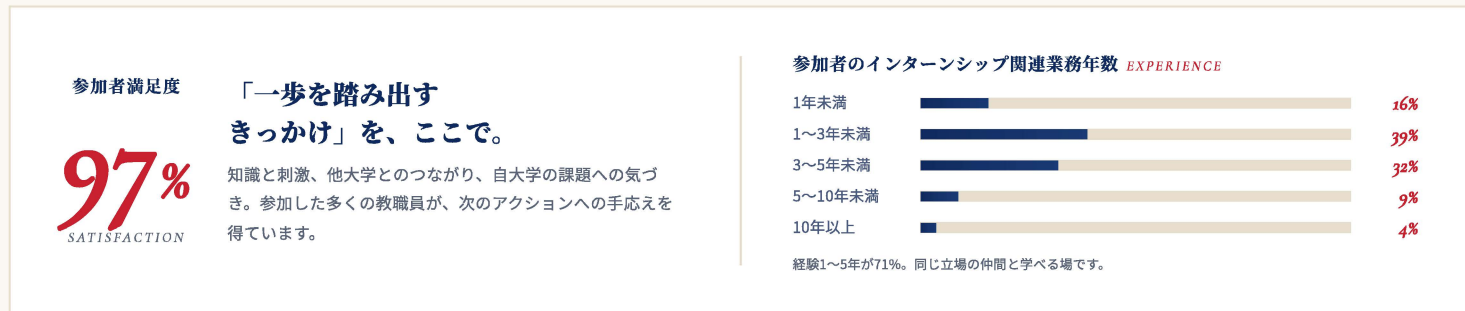
日本学生支援機構（JASSO）では、インターンシップ専門人材の効果的な育成のためには関係機関が連携し体系的なシステムを提供することが求められることから、2018（平成30）年度以降、CIACと連携し、STEP1を「インターンシップ専門人材セミナー～基礎編～」として実施しております。続いて、CIACにおいて、STEP2（実践編）及びSTEP3（発展編）に対応する研修会を実施し、体系的な育成システムを構築しています。

これらのJASSO及びCIACが開催するセミナー・研修会等が、各大学等における**インターンシップ専門人材の育成・配置、インターンシップの推進・充実等の一助となる**ことを心から願っています。

・ Chapter 06 —

受講者の声

昨年度のアンケートより一部抜粋。全国の大学教職員が、この場で何を得たのか。



他大学の事例を知り、本学の課題が明確となった。次年度のプログラム改定点を、職員と教員にどのような資料を用いて説明するとよいかが整理できた。

— 地方私立大学・教員

企業・学生・大学の理解者として、時代の変化に合わせて国の方針に添って進化させるべきことが学べた。他大学でも同様の環境で孤軍奮闘されている仲間がいることに勇気をいただきました。

— 地方国立大学・職員

三省合意の内容のみならず、合意に至った経緯・過去の流れについても詳しく知ることができた。参加者の皆様と共有することで、現在抱えている問題の解決に向けた道筋が見え始めました。

— 地方私立大学・職員

最先端の情報や取り組み事例をお持ちの先生方や他大学の方から、知識と刺激を沢山いただき、自学での改革に向けた一歩を踏み出すきっかけをいただきました。

— 地方私立大学・職員

講師の先生方からインターンシップに関して幅広い視点で知見が得られ、教育的効果の高いインターンシップについて基本的なことがイメージできた。自大学のインターンシップにおける課題を改めて認識でき、今後、取り組むべきことが明確になった。充実し、かつ示唆に富んだ講義内容から、改めて**インターンシップを大学で実施する意義**を見出せた。

— 地方公立大学・職員

COMMUNITY

研修後も、続く価値。専門人材コミュニティへの参加。

参加者限定グループメール（任意）で最新情報を継続受信

セミナー登壇・専門誌への寄稿等、自大学の取組成果を発信

「CIAC認定インターンシップコーディネーター」として登録・活動

ブラッシュアップ研修会・CIACコラボカフェ等で継続学習

他大学連携・地域連携・プログラム開発のコンサルテーション

学内研修・アドバイザー等、個別のサポート提供

• Chapter 07 —

お申込み

各回30名の少人数制。定員に達し次第、受付を終了いたします。お早めのお申込みをお願いいたします。

FEE / 受講料	CAPACITY / 定員	STEP2 DEADLINE	STEP3 DEADLINE
25,000 円 各編 お一人あたり 申込受付後に振込詳細をご連絡	各回 30名 定員に達し次第、 受付終了いたします	10.30 Fri 2026年10月30日（金） 実践編 締切	01.29 Fri 2027年1月29日（金） 発展編 締切

HOW TO APPLY / 申込から修了までの流れ

STEP 01

申込フォーム送信

右下のQRまたはURLから受付フォーム
に入力・送信。

STEP 02

受講料のお振込

申込受付後、振込先等の詳細をメ
ールでご案内します。

STEP 03

事前課題 → 2日間受講

事前課題を提出のうえ、指定日程
の全プログラムに参加。

STEP 04

修了証発行 → 認定登録

全受講者に修了証を発行。STEP3
修了者は認定登録可能。

2026年度、あなたの大学の インターンシップを、次の段階へ。

お申込みは、以下のGoogleフォームより。申込受付後に、振込等の詳細についてご連絡いたします。

申込フォームへ | <https://forms.gle/71vtPYKP4R4Ji2Df8>

CANCELLATION POLICY / キャンセルポリシー

実践編は〈2026年11月5日（木）17:00〉まで、発展編は〈2027年2月15日（月）17:00〉までは無料（但し、振込手数料を差し引いた金額）でキャンセルをお受けします。上記日時を過ぎた場合は全額をご負担いただきますのでご了承ください。

お問合せ先

一般社団法人 産学協働人材育成コンソーシアム 事務局

〒105-0004 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館 9階

e-mail info@j-ciac.org（担当：品川）

お問い合わせ・ご連絡はメールにてお願いします

主催



一般社団法人
産学協働人材育成コンソーシアム
Japan Consortium of Industry-Academia Collaboration in Human Resource Development

協力



独立行政法人
日本学生支援機構
JAS O Japan Student Services Organization